



2025年度(令和7年度)教育課程特例校の取り組みについて

- 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性
学校設置地域である京都府木津川市を含む関西学術研究都市は多くの研究機関が設置され、帰国児童に対する初等教育の実現が求められている。さらに国内在住児童に対しても幼少期から外国語を自由に駆使し、グローバルな視野をもつ国際人として養成することが求められている。それらの要請に応えるため、英語と国際バカロレアに基づいた教科横断的な探究型の学びに重点を置いた教育を行い、さまざまな背景を持った児童が啓発し理解しあう、国際交流の拠点となる環境を構築すべく特別の教育課程を編成する。
- 国語科、家庭科を除く各教科などについて、英語を含む指導により授業を行う。各学年・教科などの標準時間数を堅持しつつ、6年間における総授業時間数の約50%について、英語を含む指導とする。尚、外国語活動は1年生、2年生でも実施する。
- 本校は開校以来10年が過ぎ、教育課程の見直しを行った結果、国際バカロレアの教育プログラムをベースとした「UOI(Unit of inquiry:探究の単位)」と英語による「イマージョン教育」により充実させるため、昨年度から一部の教科の授業時数を調整した。
- 学習指導要領に定める内容事項を、児童の発達段階を考慮しつつ、国際バカロレアの単元に合わせて一部学年を超えて指導するとともに、総授業時数を特別の教育課程において確保する。

区分	各教科の授業時数										宗教 の授 業時 数	特別 活動 の授 業時 数	総合 的な 学習 の時 間の 授業 時数	外国 語活 動の 授業 時数	新設 教科 等の 授業 時数	総授 業時 数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国 語						
第1学年	128		166		0	68	68		102		34	34		140	280	1020
第2学年	140		175		0	70	70		105		35	35		140	315	1085
第3学年	140	0	175	0		70	70		105		35	35	0	140	350	1120
第4学年	160	0	175	0		70	70		105		35	35	0	140	350	1140
第5学年	133	0	175	0		70	70	60	90	105	35	35	0		367	1140
第6学年	158	0	175	0		70	70	55	90	105	35	35	0		402	1195

- 教育課程特例校開始年月日：2011年（平成23年）4月1日
・教育課程特例校変更年月日：2020 年（令和 2 年）4 月 1 日
・教育課程特例校最終変更年月日：2024 年(令和 6 年) 4 月 1 日